

取扱説明書

DAYTONA

R14959①/⑥

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

 レバーガード	適応車種	商品NO.
	汎用	14959

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保
- ※ 証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

-  **警告** 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
-  **注意** 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

警告



禁止

- この商品を不用意に曲げ・切削・溶接等の追加加工、分解、改造は絶対に行なわないでください。所定の性能が発揮できないだけでなく、重大な事故に繋がる危険性があります。また、保証対象外となります。
- この商品は記載されている適応条件以外の車両には使用しないでください。

注意



実施

- 取付作業は必ず周囲の安全を確保し、車体を安定させた状態で車体の転倒や怪我などがないように十分注意して作業を行なってください。
- 本商品を取り付ける際は使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。
- 純正部品の紛失や破損に注意してください。また、取り外して使用しない純正部品は大切に保管をしてください。
- 取り付け前に、商品の構成内容や外観、仕様などに不備がないか、必ずお確かめください。万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店へご相談ください。
- 走行に支障がないよう適切な後方視界を確保するように調整を行なってください。
- 本商品の脱落がない様に確実に取り付けてください。また作業中や使用中によるキズや打痕、脱落などのトラブルは保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。
- 取り付け後は走行前に各部異常がないか毎回点検を行なってください。



実施

- 取り付け後約 100km 走行しましたら各部を点検し、ネジ部等の増し締めを行なってください。その後は約 500km 毎に必ず点検を行ない同様の増し締めを行なってください。定期的な整備を怠ったことにより発生した不具合などにつきましては、当社は一切の責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検し正常に機能しない場合はご使用を中止してください。その後、指定/認証工場へ連絡し、必ず点検を行なってください。



法令違反

- 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道を制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。
- 車体の幅がレバーガードの装着で 20mm 以上変わる場合があります。その場合は車検証の記載変更が必要となります。
- 本商品は保安基準を満たしていますが、検査官の判断に委ねられるところもあり、車検に通らない場合もございます。その場合は検査官の指示に従ってください。



その他

- 保証の受付の際は、販売店様のご捺印のある保証書、またはご購入履歴（レシート等）が必要です。必ずご確認ください。必要事項が明記されていない場合や、保証書を紛失された場合、当社所定の商品保証対象外となります。大切に保管してください。
- 取り付け後にブレーキレバー/クラッチレバーを握りこみ、レバーガードと接触が無いことを確認してください。
- 本商品はユニバーサルタイプの仕様ですが全ての車両への取り付けを保証しておりません。車種やお客様仕様状況によっては取り付けができない場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 本商品は表面にアルマイト仕上げの商品は、カラーアルマイトの性質上、使用環境によっては早期から色落ちや腐食、または、飛び石やバイク保管用保護カバーとの擦れ等でアルマイトがはがれる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本商品は予告なしに価格や仕様の変更をすることがあります。また文中にて紹介した他の商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

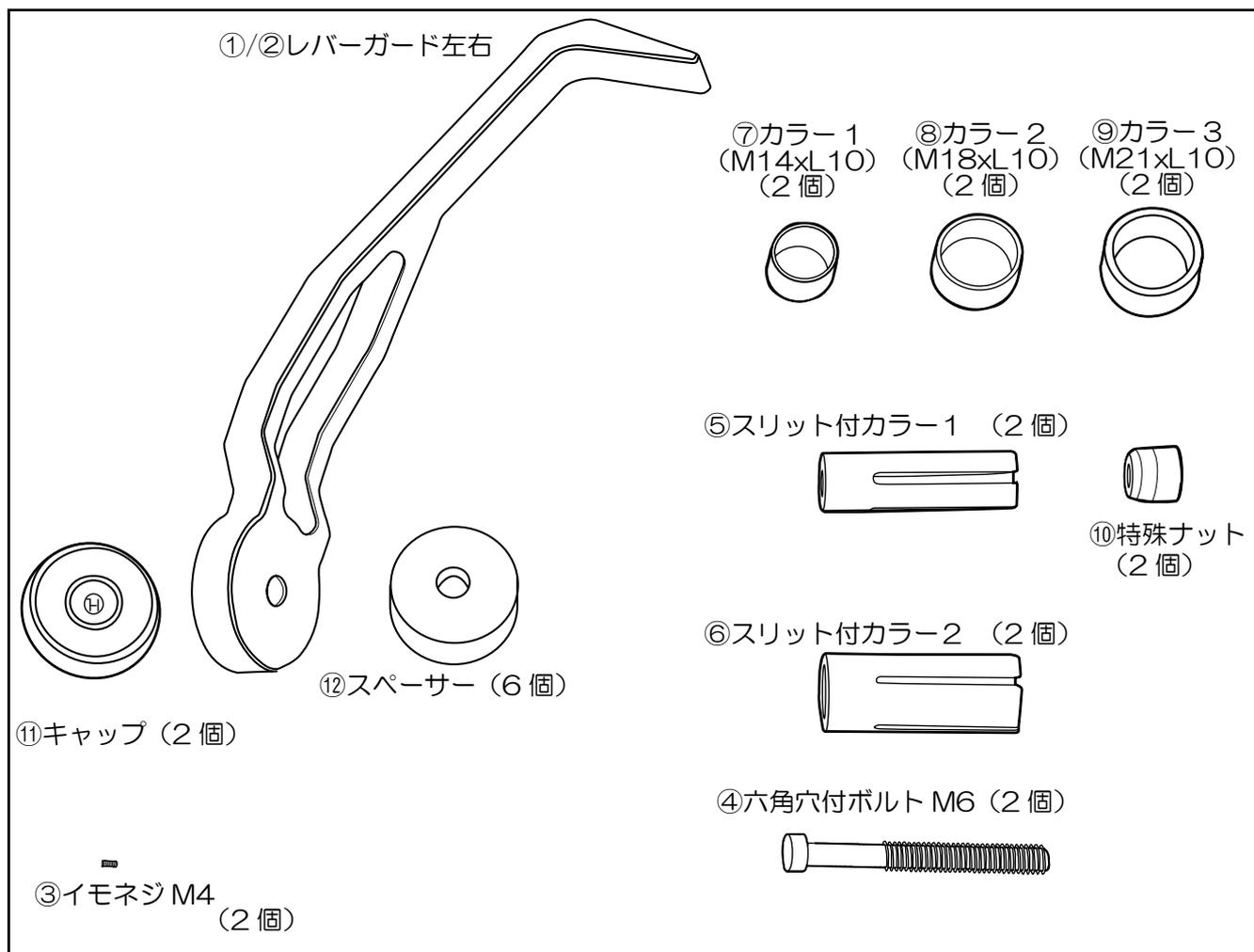
本商品の特徴

- ドイツ人デザイナーが手掛けたスタイリッシュなレバーガード。
- ハンドルエンドが貫通タイプでハンドル内径Φ12～Φ22 のサイズに適合。
- スペーサー付属で様々な車種に取付け可能
- アルミ削り出しマットブラックアルマイト仕上げ。
- 左右セット。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	レバーガード左		1	⑦	カラー1	Φ14xL10 取付済み	2
②	レバーガード右		1	⑧	カラー2	Φ18xL10 取付済み	2
③	六角穴付イモネジ	M4 取付済み	2	⑨	カラー3	Φ21xL10 取付済み	2
④	六角穴付ボルト	M6 取付済み	2	⑩	特殊ナット	M6 取付済み	2
⑤	スリット付カラー1	Φ12xL40 取付済み	2	⑪	キャップ	取付済み	2
⑥	スリット付カラー2	Φ16x40 取付済み	2	⑫	スペーサー		6

部品一覧



取付条件

条件1. 右イラストの図Aの様にハンドルバーエンドが貫通していることを確認します。

条件2. ハンドルの端部がグリップ、またはスロットルスリーブより出ていることを確認します。

※ハンドル端部が奥にある場合は、マスターシリンダーやグリップ、スイッチBOXの位置を調整してください。またスイッチBOX等には回り止めの突起があります。回り止めがある場合はご使用のハンドルに回り止め用の穴を開けるなどの追加加工が必要となります。

条件3. ハンドル内側のエンド部から奥行60mm以内に干渉する物がないか確認します。(インナーウエイト等)

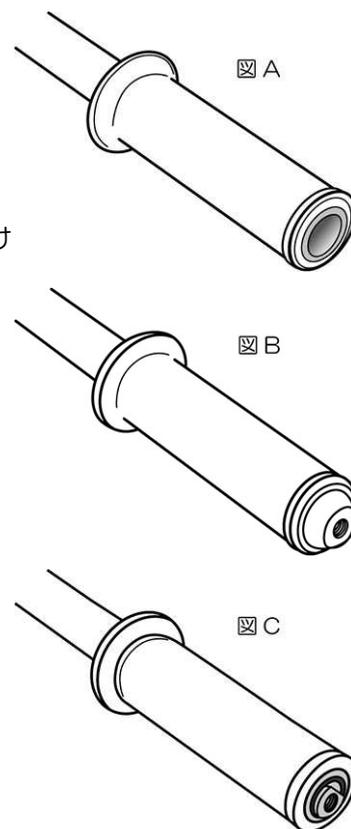
※YAMAHA系の純正ハンドル等は貫通タイプでもハンドル内側にネジが切られている場合があります。本商品をそのまま取り付けすると純正ハンドルを破損させてしまいます。絶対に取り付けしないでください。

条件3. 右イラストの図Bの様にハンドルエンド部がナット等で塞がっている場合は取り付けができません。取り付けするためには市販のパイプハンドル(※1)へ交換することで取り付けが可能となります。

条件4. 右イラストの図Cの様にハンドル内側にインナーウエイトが付いている場合は取り付けができません。インナーウエイトを取り外すか市販のパイプハンドル(※1)へ交換することで取り付けが可能となります。

※インナーウエイトの取り外しは車両販売店、または指定認証工場などへご相談ください。弊社では対応致しかねます。

※インナーウエイトを外す、または無い状態で使用する場合、振動などが純正状態から大きく変わる可能性があります。あらかじめご了承ください。



※1…条件1と条件2、条件3を満たしていること。

取付方法

【作業前の注意事項】

- 純正部品の脱着方法などの詳細につきましては、車両メーカー発行のサービスマニュアルをご参照ください。
- メインスタンドなどを使用し、車体をしっかり固定してください。作業中に車体が倒れない様に十分注意し、必ず安全を確保した上で慎重に作業を行なってください。
- 本商品は全ての構成部品が仮組みされています。以下、取り付け手順は仮組みされた部品を全てバラバラにした状態からの組み付け手順でご案内しております。あらかじめご了承ください。

【取り付け手順】

○1. 純正ハンドルより純正バーエンドを取り外します。

※純正バーエンドは使用しません。大切に保管してください。

○2. 純正ハンドルの端部がグリップやスロットルスリーブの端部より出ていることを確認します。

※ハンドル端部が奥にある場合は、マスターシリンダーやグリップ、スイッチBOX、スロットルホルダーの位置を調整してください。

※スイッチBOXやスロットルホルダー等には回り止めの突起があります。回り止めがある場合はご使用のハンドルに回り止め用の穴を開けるなどの追加加工が必要となります。以下、説明文章内にも移動が必要な場合があります。追加加工する際は説明文章を最後まで読み全ての条件を踏まえた上で作業を行なってください。

○3. 測定器(ノギス等を使用してハンドル内径を測定します。)

○4. 下図を参照しながらハンドル内径に合った部品を準備します。

※部品は全て仮組みされた状態となっております。不要な部品を外して大切に保管してください。

【レバーガード取付例】

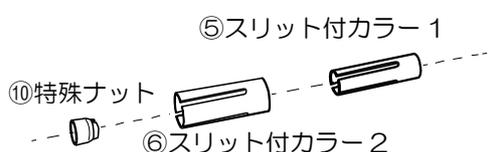
●内径Φ12.0～13.9の場合



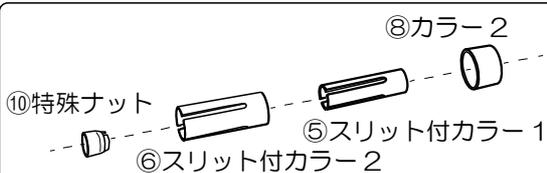
●内径Φ14.0～15.9の場合



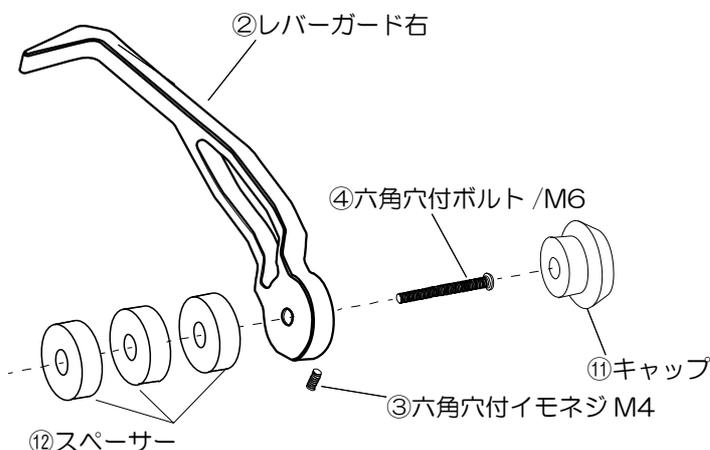
●内径Φ16.0～17.9の場合



●内径Φ18.0～20.9の場合



●内径Φ21.0～22.0の場合



⑫スペーサー
レバーと接触しないようスペーサーの数を調整してください。

ハンドル内径により取付部品が異なります。
測定器を使用してハンドル内径に合った組み合わせを選択します。

⑦カラー 1、⑧カラー 2、⑨カラー 3 はセンターのズレを抑制するパーツです。ハンドルの内側に来るように取り付けを行なってください。

05. 手順04で用意した部品を仮組みします。

06. 右側のイラストを参照して⑫スペーサーと⑪シート、④六角穴付ボルト (M6) を使って②レバーガード右を仮組みします。

※①レバーガードとレバーが接触しないよう⑫スペーサーの数を0～3個の間で調整してください。

07. 同様に①レバーガード左も組付けます。

08. 左右のレバーガードを仮組みしたら乗車して位置を調整します。
09. ハンドルを左右にゆっくりと切ってレバーガードが接触しないことを確認します。
※車種によってはタンク、カウル、スクリーンなどに接触する場合がございます。
10. ブレーキ側とクラッチ側のレバーを、奥まで握りこみ左右の①レバーガードとレバーが接触しないことを確認します。
※レバーが接触する場合はマスターシリンダーまたはホルダーとスイッチ BOXなどを動かし接触しない位置まで調整するか、①スペーサーの数量を増やしてください。その後、各部移動させた部品が正常に操作できることを確認します。
11. スロットルがレバーガードと接触してアクセルの開閉に影響が及ぶ場合は影響しない位置に調整してください。
12. 手順 04～10 まで問題なければ手順 05 で仮組みしたレバーガードを確実に固定します。
13. ①キャップをレバーガード端部に装着し、③六角穴付きイモネジ (M4) で固定します。
14. 各部異常がないことを確認し問題がなければ作業は終了です。取付終了後の注意事項へ移動してください。

【取付終了後の注意事項】

15. 各部がしっかり固定されていること、レバーガードが接触していないことなど運転操作に影響がないことをもう一度確認ください。
16. 外した純正部品や使用しなかった部品は大切に保管してください。
17. 走行前に必ず異常がないことを確認の上、使用してください。また 500km 走行毎に各部ネジが緩んでいないか確認を行なってください。

東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで